

はる 春の生きものを さが 探してみよう！

足立区 桑袋ビオトープ公園

ニュースレター



4

2024



※背景写真：ナナホシテントウ

当日申込

はる だいちょうさ
①春のアリ大調査

4月7日(日)

身近な生きもののアリの採集して、観察しよう。



クロヤマアリ

当日申込

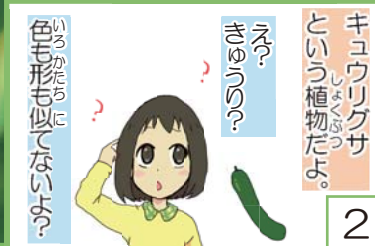
②テントウムシのマグネット作り

4月28日(日)

園内で採集したテントウムシを観察して、樹脂型に色を付けて自分だけのマグネットを作ろう。



4コマ劇場



申込不要

自然のあそび屋台

4月14日(日)、21日(日)、29日(月)祝

2つのプログラムから、好きなものに挑戦しよう。

①「春の自然さがしビンゴ」

(※雨天の場合、「草花ステンシル」に変更)

②「ミジンコ水族館」

時間 14:00~14:30 / 参加費 無料

対象 どなたでも(就学前の子どもは保護者の参加が必要)

場所 うき島池デッキ横集合 ※雨天の場合、あやせ川清流館で行います。



お知らせ

- ・天候や感染症等の予期せぬ事態により、プログラムが変更・中止となる場合がございます。
- ・プログラムが中止となった場合、ご応募いただいたハガキ代等の返却はいたしません。あらかじめご了承ください。

公園のみどころ紹介

春限定のふわふわ

春の気配が濃くなってくると木々が芽吹き、若葉が見られるようになってきます。その若葉や新芽の中にはふわふわした産毛のようなものがついていてあります。園内で見られる樹種の中では、トネリコ、アカメガシワ、コナラで見られます。特に私はコナラがお気に入り、ふわふわしているのはもちろん、ピロードのように上品に輝いて見えるところも良い！と感じます。しかし、このふわふわは一体何なのでしょう？



コナラ



トネリコ



アカメガシワ

ふわふわの正体

調べてみたところ、葉に限らず植物についている毛のようなものは「毛状突起」や「トライコーム」と呼ばれており、柔らかい若葉を守る役割があるようです。若葉についているトライコームは、葉が成長していくとどんどん少なくなっていくそうです。



成長したコナラの葉

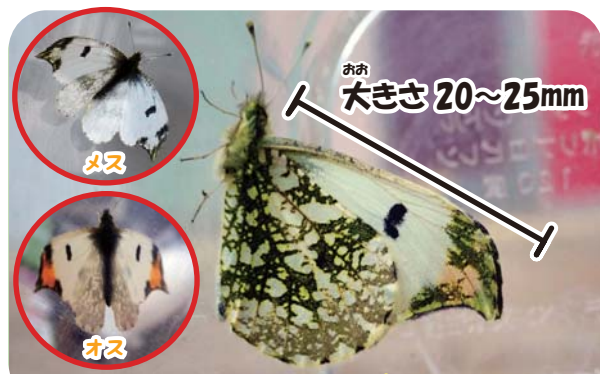
今限定のふわふわ！

ふわふわを堪能するなら春のうち。皆さんも探してみてください。見つけたら優しく触ってみてください。きっと気持ち良いですよ！

【解説員 井坂】

ビオトープ生き物図鑑

N0.88 ツマキチョウ



見つけやすい ← ★ → 見つけにくい

後翅裏面が緑色の網目模様、前翅先端がかぎ状の特徴的な翅を持ちます。雄の前翅の先が黄色いことが「襷※黄蝶」という名前の由来です。園内の草地や林で見られます。※襷：和服の裾の左右両端の部分のこと。

ボランティア日誌

1月13日(土)

「1月13日作業再開」

新年初の活動です。皆さんが気持ちよく来園できるよう、うき島池の湿地エリアの「枯草刈り」と「アサザの手入れ」をし、心地よい汗を流しました。次年度は仲間が10人増えるので、さらにパワーアップした活動ができると思います。



枯草刈り前



枯草刈り後

【水辺ボランティア7期生 村山】

ご利用案内

開園時間

2月～10月
9:00～17:00

11月～1月
9:00～16:30

休園日

月曜日
(祝日の場合、直後の平日)

年末年始
(12月29日～翌1月3日)

入園料 無料

駐車場 無料(11台)

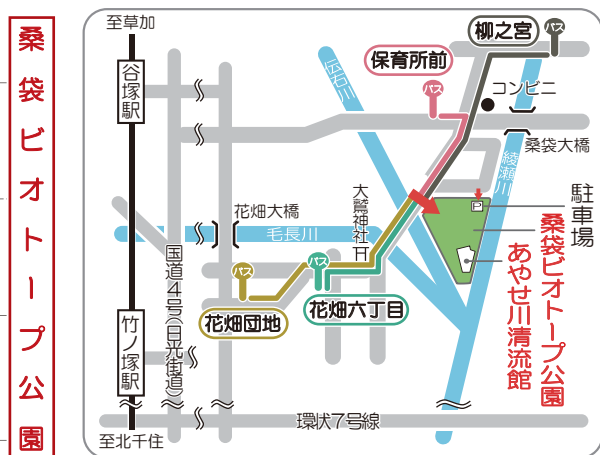
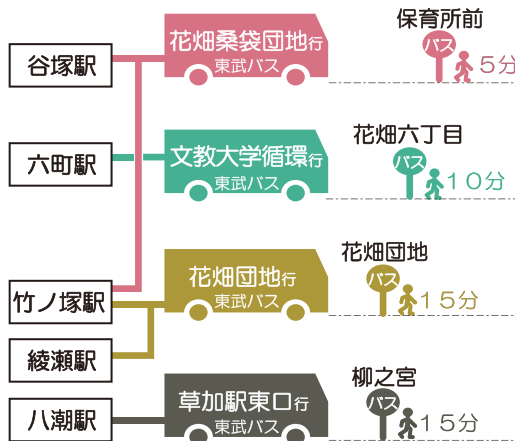
お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)

〒121-0061

足立区花畑8-2-2

交通案内



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけない場合があります。



知ると分かる。すると変わる。



足立区
2024年3月発行